

三小タイムズ

令和3年6月4日発行 校長 辻 久恵

社会授業（4年2組）

単元名 ごみの処理と利用

本時のねらい

現近代におけるごみ問題について知り、学習課題を設定する。
学習の展開

- 1 前時の振り返りをする。
○前はどんな学習でしたか。
 - ・家や学校では毎日ごみが出ていた。
- 2 ごみが処理されないとうなるのか予想してペアで確認する。
○毎日出るごみが処理されなかったらどうなるでしょう。
 - ・町中ごみでいっぱいになる。 ・臭くなる。 ・虫が湧く。
 - ・海が汚れる。 ・生き物が死んでしまう。 ・住みにくくなる。
- 3 本時の目当てを確認する。
ごみの問題について考え、学習課題を立てよう。
- 4 ごみ問題に関する資料を読んで分かったこと、気付いたこと、思ったことをノートに書き込む。
- 5 4で考えたことをグループで出し合い、全体に共有する。
 - 若洲の埋め立て地（1972年）約50年前の写真です。
 - ・ごみであふれている。
 - ごみ問題を伝える当時の新聞（1971年9月5日）です。
 - ・夢の島にごみを捨てるな。
 - ごみであふれた都内の公園の写真です。
 - ・汚い。
 - ・こんな公園行きたくない。
 - ハロウィン翌日の渋谷のコンビニの写真です。
 - ・ごみだらけ。
 - 最近の海の写真です。
 - ・大きなごみがたくさんある。
 - ウミガメの写真です。
 - ・ウミガメがごみに絡まって動けない。
- 6 4の資料と自分たちの家庭や町を比較し、問題が起きていない理由について予想を立てる。
 - どうして昔よりごみが少ないのだろう。
 - ・処理してくれる人がいるから。 ・みんなで気を付けているから。
- 7 学習課題を設定する。
 - 何について調べたいですか。
 - ・処理してくれる人。 ・ごみがどこに行くか。 ・リサイクル。
 - わたしたちが健康に過ごすためにごみを処理する人たちはどのような方法、どんな思いで処理しているのだろう。**

☆東京都はどのように処理していくのか勉強していきましょう。

